

Press Release

報道関係各位

第 25-003 号
令和 7 年 2 月 10 日
株式会社サイサンJibu Gas One 社、ルワンダ共和国にて LP ガス容器等を UNHCR から初受注
～ルワンダ国内最大のマハマ難民キャンプへ納入～

Gas One(ガスワン)グループの基幹である株式会社サイサン(さいたま市大宮区 代表取締役社長 川本武彦)は、昨年 5 月に発足した海外法人である Jibu Gas One Limited(ジブ ガスワン:ルワンダ共和国キガリ市 代表取締役社長 松下幸之助 以下、同社)が、2024 年 12 月 24 日に国連難民高等弁務官事務所(以下、UNHCR)と、難民追加受入避難者用 LP ガス機器販売について契約したことをお知らせいたします。



UNHCR Rwanda(ルワンダ)では、昨年 9 月に国内最大のマハマ難民キャンプへコンゴ民主共和国から受け入れた 900 名の難民者用として、LP ガス容器と機器の納入契約先を募集していました。契約先選定時に同社では日本品質の安全管理や保安体制を提案し、採用された形となりました。納入内訳は、LP ガス容器(6 kg、UNHCR ロゴ入り)8,500 本、バーナー・グリル(6 kg 容器用)各 9,500 個と、LP ガス貯槽(1 トン)です。今月 6 日に初回納品を実施し、まず LP ガス容器 400 本とバーナー・グリル各 1,000 個を納入いたしました。今後、残りの容器機器納品と貯槽の設置を行う予定です。また、本契約は日系ガス会社では初の UNHCR への納入にて画期的な契約と考えております。(当社調べ)





ルワンダ共和国での LP ガス年間消費量は約 42,000 トンで、未だ 90% 以上の家庭で薪や木炭などを使用しています。この状況を改善するため、ルワンダ政府は、この比率を 40% まで減らすことを目標としています。このキャンプ内でも環境保護の観点から薪や木炭を使用することは禁止されています。

Gas One グループでは、創業 100 周年となる 2045 年にエネルギー小売り事業で世界のリーディング企業になることをビジョンとしております。今後著しい経済成長が見込まれる市場において、環境に優しいエネルギーである LP ガスの普及に努め、最も身近なホーム・エネルギーパートナーとして、アフリカ大陸の皆さまへ健康と生活向上に向け安全、安心、信頼をお届けしてまいります。

以上